

科目名	コマース研究ゼミナール	科目コード	1210	単位数	2
担当者名	相浦 宣徳	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	到達目標	G,H	実務経験	無
ナンバリング	HSe502	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

近年、ある与えられた環境の中で主体が相互に関係しあい、全体として社会における秩序を作り出す様をコンピュータで表現しようというマルチエージェントシステムという手法が注目されています。コマース研究ゼミナールと本ゼミナールでは、マルチエージェントシステムの基礎、簡単なプログラミングを学習します。ゼミナール ~ を通じ、本学のディプロマ・ポリシーである課題発見能力・解決能力を身につけます。

● 到達目標

マルチエージェントシステムの基礎、簡単なプログラミング技術を習得し、2005年にノーベル経済学賞を受賞したトマス・シェリングが考案した「分層モデル」を構築できるようになります。

● 授業内容

- 1週目 人工社会の準備(環境の表現)の復習
- 2週目 登場人物の設定(エージェントの表現)の復習
- 3週目 登場人物の行動ルールの設定(1) (移動、乱数の利用)の復習
- 4週目 登場人物の行動ルールの設定(2) (条件分岐、環境の認知)の復習
- 5週目 簡単なモデルの構築(1) (モデル設計)
- 6週目 簡単なモデルの構築(2) (実装)
- 7週目 簡単なモデルの構築(3) (実装、デバッグ)
- 8週目 簡単なモデルの構築(4) (シミュレーション、分析)
- 9週目 分析結果のまとめとプレゼンテーション
- 10週目 シェリングの分層モデルの構築(1) (文献調査)
- 11週目 シェリングの分層モデルの構築(2) (環境に関する要件整理)
- 12週目 シェリングの分層モデルの構築(3) (エージェントに関する要件整理)
- 13週目 シェリングの分層モデルの構築(4) (実装)
- 14週目 シェリングの分層モデルの構築(5) (実装、デバッグ)
- 15週目 シミュレーションおよび分析、分析結果のまとめとプレゼンテーション
- 16週目 11週～15週のまとめ(質問対応)

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

manabaなどで公開している資料を事前・事後に参照し、予習・復習をすること。
 言語学習と同じように、日々の積み重ねが非常に重要です。慣れてしまえばこっちのものです。毎日時間を見つけて学習しましょう。講義の内容に基づき次回の講義でモデルを開発します(講義の復習、プログラミング作業など講義時間外の準備学習が必要となります)。
 (予習)教科書の授業中に指定される範囲の予習(180分程度)
 (復習)講義内容を振り返り、復習(180分程度)

● 成績評価の方法・基準

課題での成績評価を基本としますが、授業中の態度や課題等の進捗度合いも都度チェックして、評価時の判断材料とします。欠席回数が3回に達した場合は成績評価の対象外とします。manaba上に公開する課題を評価対象に含めます。出欠調査後の入室(遅刻)は欠席とします。

● 履修上の留意点

学外での現場見学、調査学習を行います。そのため、成人(大学2年生)として成熟した学生を対象とします。欠席・遅刻をしないようにしてください。追試験、再試験は行いません。やる気のない方はご遠慮ください。欠席・遅刻は論外です。
【重要】自宅にパソコン(Office word,Powerpointが必須)、インターネット環境がある学生を対象とします。また、コロナ禍などの感染状態において「対面方式での授業を避けたい学生」は履修を避けてください。

● 課題に対するフィードバックの方法

manaba上に提出されたモデルについて、コメントをつける。学内Wifi(BYOD)を活用し、スマートホンアプリなどを使用し、都度理解度を調査する。

● テキスト

ゼミナール で使用したテキストを引き続き使用します。「山影進:人工社会構築指南(シリーズ人工社会の可能性1)、書籍工房早山、2008.5、3,780円」を予定していますが、受講者のスキルレベルに応じて決定します。授業期間に入り2回講義した後、担当教員から指示します。それまでは購入しないようにしてください。本テキストは「コマース研究ゼミナール ~ 」で共通して使用します

● 参考書

兼田敏之代表編者『artisocで始める歩行者エージェントシミュレーション 原理・方法論から安全・賑わい空間のデザイン・マネジメントまで』(構造計画研究所 発売書籍工房早山)4,200円

● 更新日付

2025/02/24 01:07